

学習プログラム開発をしよう

シートA (記入用)

(A) グループメンバー ()

テーマ	青少年教育	市の概要	C
-----	-------	------	---

個人の要望

- 居場所づくり (世代間)
- 地域で子どもを育てる
- 地域に対しての考え方の違い

社会の要請

- 公衆施設の使いやすさ
- 行政と住民の関係づくり (役割分担、適切な関係)
- 学校教育と社会教育の連携

地域課題

- 身近な^{情報}情報が得られない
- 情報収集の方法がない
- 人とのつながりが少ない。(ゲームに夢中?)
- 子ども
◦ 人とのかかわりが少ない
- コミュニケーション作り...

学習目的

- 身近な情報を得るようになる
- 自分選で魅力ある町づくりをする
- 青少年と中心としたコミュニケーションの創生
- 地域の一員である事を親が伝える

学習目標

- 青少年交流の場を作る
- 地域伝統の継承。(大人から子どもへ)
- 子どもも地域活動で役割上での一員^員であるとの自覚を持たせ?
- 子ども 保護者

【学習プログラムを開発しよう!】

シートB (記入用)

(A) グループメンバー ()

1 学習目的 大人

- ・子どもを中心とした親の意識改革 保護者が地域コミュニティの一員である事を認識する事により青少年を認識する
- ・青少年教育にとって保護者の協力が不可欠
- ・青少年教育、何故今青少年の心の認識を扱ってほしい

2 学習目標

- ・保護者が地域に入り関わる事により、子ども自身がコミュニティの一員を担っている自覚を持たせる。
- ・この事により、子どもが自分の住むまちに愛着を持つ。
- ・保護者世代に、今の青少年教育の必要性を認識してもらう。
- ・現在の青少年が持っている課題共有

3 プログラム名

We♡はれ、と市
(まちを楽(た))

4 対象・定員

小学生と保護者 20組 (40人)

5 参加費

(受益者負担を原則として、参加費を算定する。なお算出の根拠も明確にする。)

保険代

6 事前に必要な知識や準備物

- ・100円券
- ・白地図
- ・紙
- ・地図
- ・カメラ
- ・探検地域+歴史

7 留意点

区分け (居住地域と遊ぶ地域)

8 学習プログラムの展開

回・日程	学習テーマ	各回の学習目標 (◎) 学習内容	学習支援者	学習場所	評価 (振り返りの方法)
第1回 / (土) 14:00- 16:00	<p>(地域の歴史を 学ぶ)</p> <p>まちを知ろう!</p>	<p>◎ オリエンテーション 班分け 事業についての説明 [講義] 地域の歴史を学ぶ (親世代の時代と比べてみる) [グループワーク] 次回についてのグループ相談。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域の歴史がイット 地域住民 公民館のグループの人選 	<p>研修室</p>	<p>アンケート</p>
第2回 / (土) 14:00- 16:00	<p>まち 探検!</p>	<p>◎ グループで分かれて^{まち}探検。 クイズ作れる場所を見つける</p>	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア 保健師 	<ul style="list-style-type: none"> おわつと市内 集合場所 	<p>アンケート 結果をまとめる。</p>
第3回 / (土) 14:00- 16:00	<p>地図を作ろう!</p>	<p>◎ まち探検で見つけた^{まち}のお宝を 地図にまとめる (3枚クイズ) 昔との変り具合を比べてみる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民 ボランティア 地域の歴史がイット 	<p>研修室</p>	<p>アンケート 親と子で 評価しよう。</p>

最終的には...